

用語	説明
演算子	計算の内容を表す記号のこと。算術演算子(「+」「-」「*」「/」など)、比較演算子(「=」「<」「>=」など)、論理演算子(「AND」「OR」「NOT」)などがある。
インポート	他のアプリケーションで作成した形式の異なるデータやファイル等を変換して読み込むこと。
エクスポート	SASデータセットをEXCELファイルまたはCSVファイルとして保存すること。
オブザベーション	行、レコードのこと。
解析	テキストを成分語、フレーズ、マルチワード語、句読点、およびその他のタイプの情報に分割する目的でテキストを分析すること。
カテゴリ変数	1つ1つのデータを区別・分類するために用いられている変数のこと。それぞれのデータに大小関係や優劣はなく、単純にデータを分類するために用いられる。
クエリビルダ	クエリとは、1つ以上のデータソースからデータを取得するリクエストで、クエリを使用してデータを操作する方法のこと。

用語	説明
クレンジング	データ分析しやすいデータに整形すること。
欠損値	無回答や非該当など集計から除去する値のこと。
結合	複数のSASデータセットを決められたルールに従って統合すること。内部結合(結合する両方のテーブルで一致する行のみ含む)、左外部結合・右外部結合(片方の指定したテーブルのすべての行を含む)などがある。
正規分布	確率分布の一種で、データの分布が平均値を頂点とした左右対称の山形で表示されるもの。平均±標準偏差の範囲に全体の約68%、平均±標準偏差×2の範囲に約95%、平均±標準偏差×3の範囲に約99%が含まれる等の特長がある。
精度	精密さの度合。
選択ペイン	SAS Enterprise Guideでは各タスクウィンドウの左側には、選択ペインがあります。選択ペインを使用して一連のオプションを選択することが出来ます。すべてのタスクには[データ]領域があり、ここでタスクの役割に変数を割り当てる。
出力形式	データの表示形式(データフォーマット)のこと。入力されたデータはそのままで表示形式を変えるもの。

用語	説明
タスク	SAS Enterprise Guideの機能でタスクの役割ボックスがあります。そのタスクで変数を割り当てられる役割がリストされます。タスクではデータの操作、分析プロシジャの実行、レポートの作成といったすべての作業が行われます。また、タスクの多くは、ウィザードとして使用できる。
ターゲット変数	モデルを作成するには、予測に使用可能な履歴イベントと特性を表す入力データが必要です。その予測対象のイベントまたは値を表す変数をターゲットデータ(変数)と呼び必要になる。
転置タスク	入力テーブルの選択した列を出力テーブルの行に転置します。グループ変数を使用しない場合は、選択したそれぞれの列が単一の行に転置されます。グループ変数を使用した場合は、選択した列がグループ変数の値に基づいて下位列に分割されます。各サブ列は、出力テーブルの行になる。
トランザクションデータ	業務に伴って発生した出来事の詳細を記録したデータのこと。登録や変更、削除等の手続き処理で蓄積されていく。 (例: 受注データ・履歴データなど)
外れ値	統計において他の値から大きく外れた値である。測定ミス・記録ミス等に起因する異常値とは概念的には異なるが、実用上は区別できないこともある。
ハンドリング	取り扱い、処理、操作、対処、対応などの意味を持つ英単語。ソフトウェアやプログラミングなどの分野で、特定の状況や対象について、対応する処理を行うことをハンドリングという。
変数	SASデータセットまたはSASデータビュー内の列。各変数のデータ値は、すべてのオブザベーションの単一の特性を表します。各SAS変数は、名前、データタイプ(文字または数値)、長さ、出力形式、入力形式、ラベルという属性を持つ。

用語	説明
分割表分析タスク	分割表分析タスクでは、1元からN元の度数表および分割表(クロス集計表)を作成します。また、このタスクでは行と列間の関連性についての統計量も生成されます。その代表的なものがカイ2乗検定。
プロセスフロー	入力データからデータ加工を行い、出力データを作成するまでの一連の処理の流れ。プロセスフローには7つのメニューがある。 (実行・停止・エクスポート・スケジュール・ズーム・プロジェクトログ・プロパティ)
入力形式	データを読み込む際の形式のこと。
モデル	入力から出力を計算する公式またはアルゴリズムです。データマイニングモデルには、入力変数が与えられた場合、ターゲット変数の条件付き分布に関する情報が含まれている。
ライブラリ参照名	SASライブラリに一時的に関連付けられる名前。SASファイルの完全名は、ピリオドで区切られた2つの語から構成されます。最初の語はライブラリ参照名であり、これはライブラリを表します。2番目の語は、特定のSASファイルの名前になります。たとえば、VLIB.NEWBDAYの場合、ライブラリ参照名VLIBは、ファイルNEWBDAYが格納されているライブラリを表しています。ライブラリ参照名を割り当てるには、LIBNAMEステートメントを使用するか、またはオペレーティングシステムのコマンドを使用する。
ラベル	変数より細かい説明を記述する目的として使われるもの。SAS変数名とは別にラベルを指定することができる。SAS変数名はアルファベット、数字、アンダーバーで構成しなければならない一方で、ラベルは日本語も使用可能。
リソースペイン	初期状態ではタスクリスト、SASフォルダ、サーバーリスト、プロンプトマネージャ、データ探索履歴の5つのメニューアイコンがある。

用語	説明
連続変数	値として表すことができ、四則演算が可能で連続的な値をとる変数のこと(例:長さ、時間、温度など)。
PowerQuery	2016年に公開されたMicrosoft製のデータ分析用Excelアドインであり、Excel2010以降に対応しています。 ファイル・DB・Webサービス等からデータを読み込み、変換・加工してExcelのシートに出力できる。VBAのマクロの記録と同じように、画面上で操作するとクエリ(読み込み手順の定義)が生成される。
SASデータセット	SAS固有のいずれかのファイル形式で内容が格納されたファイル。SASデータセットには次の2種類があります。SASデータファイルとSASデータビューです。SASデータファイルは、データ値に加えて、そのデータに関連付けられているディスクリプタ情報を含みます。SASデータビューには、ディスクリプタ情報と、他のSASデータセットまたはソフトウェアベンダのファイル形式で格納されたファイルからデータ値を取り出すために必要となるその他の情報のみが含まれる。
SASライブラリ	SASデータセットが集まったデータの貯蔵庫のようなものです。SASライブラリに対応するのはWINDOWSのフォルダになる。
WORKライブラリ	一時データライブラリのこと。WORKライブラリに保存したSASデータセットは、SASを一旦終了すると消去される。SAS終了後も保存しておきたいデータセットは、WORK以外のライブラリ(永久データライブラリ)に保存する必要がある。